

国際交流ボランティアカモミール ラマシカ (広島大学)

平成
24年度

◎チーム紹介

「国際交流ボランティアカモミール～ラマシカ～」は、広島大学の学生が所属しています。留学生の方に出身国の文化を紹介していただいたり、みんなで紹介してもらった遊びを実際にやってみたりなどしています。今までの活動では、バングラデシュ、タイ、中国の留学生の方に来ていただいています。

皆さん、放課後子ども教室で楽しく国際交流しませんか。

◎活動の様子

活動教室：海田放課後子ども教室（海田町）

日時：平成24年6月30日（土）10：00～12：00

場所：海田町福祉センター

参加人数：4名（大学生ボランティア）、5名（子ども）



この日は、留学生から、母国であるインドネシアについてのお話を聞きました。その後、インタビュータイムがあり、現地の学校のことなど、更に詳しく教えていただきました。

インドネシアのあいさつなども、たくさん教えていただき、楽しく言葉を交わしました。



インドネシアの遊びの中から、「じゃんけん」「ゴム跳び」などを教えてもらいました。

「ゴム跳び」では、段々、高さが上がるゴムをドキドキしながら跳んだり、留学生と手をつないで跳んだり、楽しい時間を過ごしました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 参加した子どもの人数は少人数だったけど、その分一人一人に関わることができました。
- ・ 子ども自身も様々な経験をすることができるし、私たち学生にとっても学びになるので、今後も活動を続けたいと思います。
- ・ 年齢差があったため、活動内容によって子どもの活動意欲や様子は違っていました。やはり体を動かす活動への参加意欲は高かったです。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ インドネシアの言葉や習慣などを教えてもらい、適度な運動を行ったため、子どもたちは飽きることがありませんでした。
- ・ 子どもたちは外国の言葉を吸収し、理解しようとしていました。また、ゴム跳びは、みんな楽しそうでした。
- ・ ワクワク学び隊の積極的に子どもたちと接している姿勢が良かったです。

国際交流ボランティアカモミール～ラマシカ～(広島大学)

平成
23年度

◎チーム紹介と活動内容

「国際交流ボランティアカモミール～ラマシカ～」は、広島大学の22名からなるチームで、ロシアからの留学生もいます。活動内容は、留学生にいろいろな国の文化や遊びを紹介してもらい、楽しく国際交流をします。

皆さん、放課後子ども教室で楽しく国際交流を体験しませんか。

◎活動の様子

活動教室：東広島市三ツ城わくわく広場

日時：平成23年9月15日(木) 15:00～17:00

場所：三ツ城コミュニティハウス

参加人数：8名(大学生ボランティア)、13名(子ども)



留学生が、始めに自分の国の食べ物や風景、服装等の紹介を行いました。次に、その国の特徴をクイズ形式で子どもたちに紹介しました。

子どもたちは、写真を見るたびに歓声をあげながら喜んで活動をしていました。ロシアの伝統的な踊りにも挑戦して楽しい活動になりました。



活動の終わりには、留学生の母国語であるロシア語で、「ПРИВЕТ (プライベート): こんにちは」、「СПАСИБО (スパシーバ): ありがとう」、「ПОКА (パカー): さようなら」の挨拶をしてから活動の振り返りを行いました。充実した活動になり、時間が「あっ」という間に過ぎて行きました。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

この活動は、子どもたちが異文化交流できることに加え、異文化交流を大学生自身も体験でき、子どもたちと関わるとてもいい機会です。広島県内のいろいろな地域の子とも触れ合う機会ができれば、ぜひ参加したいです。

いつも周りの先生方や保護者の方や、地域の方に協力していただき感謝しています。至らぬ点が多々あると思いますが頑張りますので、これからもよろしくお願いします。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

子どもたちは、今回の活動をとっても楽しみしていました。子どもたちが喜ぶように、又、よく分かるように活動案まで書いてきて一緒に指導してくれたのでとても助かりました。

子どもたちは、大学生たちとも仲良くなり、とても楽しく全員が充実した時間を過ごすことができました。